

まな人とコミュニケーションの幅を広げることを目指しています。

この活動は、平成24年度から始め、毎月一回、町立図書館の船原文野館長が指導しています。

子どもたちは「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」のあいさつや曜日など、一つ一つ意味を聞きながら手話を学んでいます。

さつもできるようになります。た。
こうした活動と人々とのふれあいをとおして、子どもがさまざまな文化に出会い、興味や関心を持つたり、自分の家族や身近な人のことを考えるたりするきっかけになつてほしいと考えています。

鳥取県では「手話言語条例」を制定し、手話も言語としてとらえています。

心を育てる活動を 手話で実践

大山保育所



◆船原館長による手話を交えた昔話

大山町いいとこ探し CMづくり大作戦！

名和公民館 子どもカルチャースタジオ

名和公民館の子どもカルチャー教室は、6月28日（土）から5回シリーズで『大山町

ター・カメラマンなどの役割
分担、テーマを決定。「食レポ」
「テレビCM」「大山」の3チー
ムができました。

A black and white photograph showing several students in a classroom or workshop environment. They are gathered around long tables, working on large-scale architectural models. One student in the foreground is focused on a model, while others are visible in the background. The room has large windows and various tools and materials are scattered across the work surfaces.

口ケハンから戻った後は、取材したことをまとめます

A black and white photograph showing four students in a classroom setting, focused on working on large-scale architectural models spread out on long tables. The models appear to be made of various materials like wood, paper, and plastic, with intricate details and multiple levels. The students are dressed casually, and the room has large windows in the background.

口ケハンから戻った後は、取材したことをまとめます



▲風車の取材中
見るもの全てが新しい発見です



▲撮影現場 「ねえ、この魚も撮影しようか？」

昔話、わらべ歌遊びや手遊びにも楽しく参加しています。言語はコミュニケーションをとるために必要不可欠です。今では、保育所へ手話ができるお客様がこられたと

参加児童は11人。よなご映像フェスティバル実行委員会の皆さんのが指導で、活動しました。

このなかで“食レポチーム”は「うまいもん大山」のテーマで大山町のおいしいものを紹介。“テレビCMチーム”は「風車(太空海号)」のひみつを、また“大山チーム”は「町

えるといいのか、なかなか決まらなかつたチーム、取材先でどんなことを聞くといいのか戸惑い、モジモジしながらやつの思いで質問する子、店内の来客者に取材交渉をし、断られて気落ちする子な

これは、町内の小学生が大山町のいいところを探し、「取材・構成・撮影」を自分たちで行い、5分間のCMにまとめるという映像制作体験です。

2回目は、ロケ地に出かけて取材をしました。いわゆるロケハンです。

のお店の紹介と、それぞれ違うテーマでCM制作に取り組みました。

8月末には完成上映会を行
い、取材撮影に協力していくだ
さつた関係者や保護者の方々
とCMを観賞しました。